

修 築 編

伸びゆく人とは
そんな人か(二)

東京高等學校 湯原元一

この考へも決して間違つたものとは云へない、誰でも彼でも必ず一生涯伸びるとはいへないが、人生には年齢に關せず、どによつては年齢に關せず、どこでも必ず伸びるものである。中には青年の頃は一向伸びないで、老年になつて急激に伸び、所謂大器晚成するものもある。これに反して、最初は著しく伸びたが、年が経つに従つてだん／＼と衰へて、遂にちつとも伸びなくなるといふ例も珍しい。所謂「十代で神童、二十才で才子、二十五六で唯の人」といふ。早熟の人がそれである。國家の至寶たる眞の天才但し學術界、宗教界、政治界その他に於て、本當の傑物、本當の偉人といはれる人は、早熟であつて、且つ晩成である人が多い。十歳で既に神童の萌芽を發し、それから引續き二十になつても、二十五六になつても、又六七十の年になつても、いつまでも衰へず、驚くべき大事業を大成する人がある。本當の天才は天下の眞の天才であつて、決して普通の早熟の人と同視すべきではない。世間にざらにいる才子などと稱するものこそ最早老所謂輕薄才子であつて、取るに足らぬものである。古語に「天下一人を以て與り、一人を以て亡ぶ」とあるとおり、國家の地位をどれほど高めるか分らない。角かういふ才子は、どこま

この考へも決して間違つたものとは云へない、誰でも彼でも必ず一生涯伸びるとはいへないが、人生には年齢に關せず、どによつては年齢に關せず、どこでも必ず伸びるものである。中には青年の頃は一向伸びないで、老年になつて急激に伸び、所謂大器晚成するものもある。これに反して、最初は著しく伸びたが、年が経つに従つてだん／＼と衰へて、遂にちつとも伸びなくなるといふ例も珍しい。所謂「十代で神童、二十才で才子、二十五六で唯の人」といふ。早熟の人がそれである。

立て青年(下)

第二モントン

丸山次郎

伸び方といふものに就て見るとして同一ではない。どこまで積もつて、遂に爆發して封建の制度が滅びて、今日のやうな自由の天地が開かれたのである。

どこまでも伸びる人伸びるやうなものは、各人の伸び方といふものに就て見るとして同一ではない。どこまで積もつて、遂に爆發して封建の制度が滅びて、今日のやうな自由の天地が開かれたのである。

さてさうはいふものの、各人の伸び方といふものに就て見るとして同一ではない。どこまで積もつて、遂に爆發して封建の制度が滅びて、今日のやうな自由の天地が開かれたのである。

さてさうはいふものの、各人の伸び方といふものに就て見るとして同一ではない。どこまで積もつて、遂に爆發して封建の制度が滅びて、今日のやうな自由の天地が開かれたのである。

さてさうはいふものの、各人の伸び方といふものに就て見るとして同一ではない。どこまで積もつて、遂に爆發して封建の制度が滅びて、今日のやうな自由の天地が開かれたのである。

さてさうはいふものの、各人の伸び方といふものに就て見るとして同一ではない。どこまで積もつて、遂に爆發して封建の制度が滅びて、今日のやうな自由の天地が開かれたのである。

さてさうはいふものの、各人の伸び方といふものに就て見るとして同一ではない。どこまで積もつて、遂に爆發して封建の制度が滅びて、今日のやうな自由の天地が開かれたのである。

第三モントン

丸山次郎

さてさうはいふものの、各人の伸び方といふものに就て見るとして同一ではない。どこまで積もつて、遂に爆發して封建の制度が滅びて、今日のやうな自由の天地が開かれたのである。

さてさうはいふものの、各人の伸び方といふものに就て見るとして同一ではない。どこまで積もつて、遂に爆發して封建の制度が滅びて、今日のやうな自由の天地が開かれたのである。

さてさうはいふものの、各人の伸び方といふものに就て見るとして同一ではない。どこまで積もつて、遂に爆發して封建の制度が滅びて、今日のやうな自由の天地が開かれたのである。

さてさうはいふものの、各人の伸び方といふものに就て見るとして同一ではない。どこまで積もつて、遂に爆發して封建の制度が滅びて、今日のやうな自由の天地が開かれたのである。

さてさうはいふものの、各人の伸び方といふものに就て見るとして同一ではない。どこまで積もつて、遂に爆發して封建の制度が滅びて、今日のやうな自由の天地が開かれたのである。

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13

14

15

16

17

18

19

20

21

22

23

24

25

26

27

28

29

30

31

32

33

34

35

36

37

38

39

40

41

42

43

44

45

46

47

48

49

50

51

52

53

54

55

56

57

58

59

60

61

62

63

64

65

66

67

68

69

70

71

72

73

74

75

76

77

78

79

80

81

82

83

84

85

86

87

88

89

90

91

92

93

94

95

96

97

98

99

100

101

102

103

104

105

106

107

108

109

110

111

112

113

114

115

116

117

118

119

120

121

122

123

124

125

126

127

128

129

130

131

132

133

134

135

136

137

138

139

140

141

142

143

144

145

146

147

148

149

150

151

152

153

154

155

156

157

158

159

160

161

162

163

164

165

166

167

168

169

170

チ
（7）

Jules Lemaitre 作
杉山帆影譯

いあんばいにお金持の商人は、他の方を眺めながらやつて來て、何か大層氣をとられてゐるやうでした。然しどんは頭の上から足の先まで震えてゐました。逃げ出す或はペオバブ樹の後へ身をかくすと云ふ事、それは無考なやりかたでせう……シルニスの注意を惹くにすぎません。けれどもし彼が不意に頭をめぐらしたら……?

とかうした絶対絶命になつてヂンは青い魔法使の指輪に気がつきました。そしてツリは筆舌にも盡せぬほど驚いた事には、ヂンの身體が抱いた腕の中で小さな少女をだいてゐるのを見ました。それと同時に老シルニスは額をたゝいて、大きな聲で云ひました。

『何て頭いい! わしの懸い家の内へのお土産の、扇子と真珠の頸飾をテヘランへ忘れて來てしまつた。どりに歸らなくちやなりやしない』

『この子はわしを恐がつてゐるのかな? 御氣嫌を治すやうにこの子のツリと、その愛人の胸に顔をかくしてゐたヂンを見つけました。』

『お金持の商人はたづねました。そして丸一つのルーピーの真中手を入れてそのお美味しいお菓子を一と掴み出して投げましたそなから威儀をつくつて歩き出しました、そのうちヂンはポンボ

ンを拾つてゐました。』

不思議さに、ツリはこの珍事に

すつかり感激して、

彼の女のまぶろしが浮ぶ若い初々しい彼の女は

もう嫁いで終ひなさる又貴女のむねに悲しくよみがへつて来るだろう

乙女の日を戀ふ心がこれから貴女に

はげしく動いて来るだらうそれはそれが知つてゐる

故に私の心は悲しくじんでゐる

嫁ぎ行く女に。あはれ親の犠牲となる

女に

せめて幸多かれいのるのみ

しかしあ赤い夕日の中に

彼の女のまぶろしが浮ぶ

若い初々しい彼の女は

もう嫁いで終ひなさる

又貴女のむねに悲しくよみがへつて来る

だらう

居で、そして僕がお前に云ふま

て指輪を廻はさないでお置き。』

大きな聲で云ひました。

ヂンは愛する者の前にあつて

子供の姿である、と云ふ者はあ

るなり氣に入らなかつたけれども、その通りすると約束しまし

た。

ツリは之に反して、彼女が燃

ゆるやうな戀のさめ言を、子

供らしい聲で語つたり、チョコ

ー・ノーベイ・ベーリヤ

兩極と花

南極にはいつも花がないが北極には七

百六十種の花があつてその中五十種

は様々な色彩の花で、残りは純白と黃

色の花だ

瑞典には居酒家で一つばかりのもの食

物を註文する事を禁じてゐる法律があ

る相手です

彼はちつとも驚かなかつた、と

誓つたり、戀に熱する女の感激

つかり氣に入つてしまひました

瑞紀には居酒家で一つばかりのもの食

物を註文する事は誇張であり

ませう。眼をこすりました、そ

してこれはどうしたわけとヂン

た。

ツリは之に反して、彼女が燃

ゆるやうな戀のさめ言を、子

供らしい聲で語つたり、チョコ

ー・ノーベイ・ベーリヤ

兩極と花

南極にはいつも花がないが北極には七

百六十種の花があつてその中五十種

は様々な色彩の花で、残りは純白と黃

色の花だ

瑞典には居酒家で一つばかりのもの食

物を註文する事は誇張であり

ませう。眼をこすりました、そ

してこれはどうしたわけとヂン

た。

ツリは之に反して、彼女が燃

ゆるやうな戀のさめ言を、子

供らしい聲で語つたり、チョコ

ー・ノーベイ・ベーリヤ

兩極と花

南極にはいつも花がないが北極には七

百六十種の花があつてその中五十種

は様々な色彩の花で、残りは純白と黃

色の花だ

瑞典には居酒家で一つばかりのもの食

物を註文する事は誇張であり

ませう。眼をこすりました、そ

してこれはどうしたわけとヂン

た。

ツリは之に反して、彼女が燃

ゆるやうな戀のさめ言を、子

供らしい聲で語つたり、チョコ

ー・ノーベイ・ベーリヤ

兩極と花

南極にはいつも花がないが北極には七

百六十種の花があつてその中五十種

は様々な色彩の花で、残りは純白と黃

色の花だ

瑞典には居酒家で一つばかりのもの食

物を註文する事は誇張であり

ませう。眼をこすりました、そ

してこれはどうしたわけとヂン

た。

ツリは之に反して、彼女が燃

ゆるやうな戀のさめ言を、子

供らしい聲で語つたり、チョコ

ー・ノーベイ・ベーリヤ

兩極と花

南極にはいつも花がないが北極には七

百六十種の花があつてその中五十種

は様々な色彩の花で、残りは純白と黃

色の花だ

瑞典には居酒家で一つばかりのもの食

物を註文する事は誇張であり

ませう。眼をこすりました、そ

してこれはどうしたわけとヂン

た。

ツリは之に反して、彼女が燃

ゆるやうな戀のさめ言を、子

供らしい聲で語つたり、チョコ

ー・ノーベイ・ベーリヤ

兩極と花

南極にはいつも花がないが北極には七

百六十種の花があつてその中五十種

は様々な色彩の花で、残りは純白と黃

色の花だ

瑞典には居酒家で一つばかりのもの食

物を註文する事は誇張であり

ませう。眼をこすりました、そ

してこれはどうしたわけとヂン

た。

ツリは之に反して、彼女が燃

ゆるやうな戀のさめ言を、子

供らしい聲で語つたり、チョコ

ー・ノーベイ・ベーリヤ

兩極と花

南極にはいつも花がないが北極には七

百六十種の花があつてその中五十種

は様々な色彩の花で、残りは純白と黃

色の花だ

瑞典には居酒家で一つばかりのもの食

物を註文する事は誇張であり

ませう。眼をこすりました、そ

してこれはどうしたわけとヂン

た。

ツリは之に反して、彼女が燃

ゆるやうな戀のさめ言を、子

供らしい聲で語つたり、チョコ

ー・ノーベイ・ベーリヤ

兩極と花

南極にはいつも花がないが北極には七

百六十種の花があつてその中五十種

は様々な色彩の花で、残りは純白と黃

色の花だ

瑞典には居酒家で一つばかりのもの食

物を註文する事は誇張であり

ませう。眼をこすりました、そ

してこれはどうしたわけとヂン

た。

ツリは之に反して、彼女が燃

ゆるやうな戀のさめ言を、子

供らしい聲で語つたり、チョコ

ー・ノーベイ・ベーリヤ

兩極と花

南極にはいつも花がないが北極には七

百六十種の花があつてその中五十種

は様々な色彩の花で、残りは純白と黃

色の花だ

瑞典には居酒家で一つばかりのもの食

物を註文する事は誇張であり

</div

第一百七十五回 大石内蔵之助 半井桃水

『若し足下にお咎め掛らば、拙者代つて申解き、御迷惑は及ぼすまい』

『右様の御心配は御無用に下されう、拙者支配の下にある吉右衛門、萬事好きに計らひ申す』

『忠左衛門は心許なう思ふてか、更に其時の大日附吉田に陥る事のないやう、懲に頼み入れ、千馬吉右衛門とも、罪を、引受けます』

『萬一吉右衛門なり千馬氏なりお咎めを蒙らすして、叶ひ難きお見込ならば、拙者代つてその罪を、引受けます』

『未頼母しい少年を、助けたいと思ふ爲め、吉右衛門とやらが受けいで叶はぬやうなら、大目附の拙者一身に引受け、外へ累は及ばず申さぬ』

『今日大手のお濠の鴨を、射殺した者があるとか、途中に於て承はつたが、早罪人は召捕られたか』と意地の悪い目を光らす。

『御禁斷のお濠に於て、鳥を射る者は御座りませぬ』と忠左衛門は落書き拂つた。

『ナニ無い事があらうか、現在身共見て參つた』

『御城代には鳥を射た者を、御直に御覽なされましたか』

『イヤ鳥を射た者は見ぬ、射られた鳥がお濠の中に、死んで居るのが何より證據』

『外で射られました鳥が、矢を負ふた儘逃げて参り、お濠に入中まで逃込むなど、馬鹿々々にして、その様な事があらうか』

『現在逃げて参る處を吉田忠左衛門は見て居りました、夫ともお濠に居る鳴と、外の鳴とは違ひますか』

『此の後幾程もなく、吉田忠左衛門は加東郡の郡代となり、仲間吉右衛門を足輕に取立て、寺坂信行と名乗らせ、勝田新左衛門は十三歳の春、小姓に召出された』

『足下の志は忝なう存じ申受け下されませう』

『この儀は素より覺悟の上、先年鴨を討ちました時、若しかお助け下されねば、疾く命を捨た新左奴、木村殿御報恩も致し得ます』

『受けけて果たない望み、實は私一命に代て、木村殿御赦免の儀を、屢々願立てまして、お聞届けられて、木村殿御赦免の儀を、一命果す覺悟をもつて、此

Dr. Rocha Botelho
Telephone Avenida, 418
急用電話
診察所 Rua Barão de Itapetininga, 52

Dr. Fco. Graziano
Medico e Cirurgião
Praça Independência, Telephone, 59
Catanduva (E. F. Araraquarense)

Dr. S. TAKAOKA
MEDICO E OPERADOR
Rua Fagundes, 8-S. Paulo

内
科
一
般
小
兒
科
專
門

前
ロ
ー
マ
病
院
勤
務

X
光
線
、
紫
外
光
線
、
最
新
式
電
氣
裝
置
完
備
テ
ア
ル
ル
バ
ル
ビ
ア
ラ
ム
チ
ア
ン
ド
ツ
ト
ル
フ
ラ
ン
シ
ス
コ
グ
ラ
チ
ア
ン

聖
市
電
話
タ
ン
シ
ラ
ウ
四
八
〇

診
察
同
午
後
三
時
より
六
時
ま
で

分析、顯鏡試驗室
ア

足爪立て窓の外から、握飯を渡せば受取つて食ふ、斯の如きの三夜に及んだ。

五日目の朝一同出仕の折、内匠頭は片岡源吾右衛門に向ひ、『木岡右衛門を武具庫に押さめて、もう幾日になるであらんな』と云ふ。『最早や五日に相成ります』

『お受け下されませうとな、至らす切腹致す』

『すりや左程まで覺悟極めて』

『恩人の御難儀を、救ふ事も相成らねば、生きて甲斐ない新友達が無に致しては相成るまい、好い』

『さらば賞味致さう』

『お受け下されませうとな、至らす切腹致す』

『處まで忍び参りました、いよいよお受け下されねば、此の場を去らざる切腹致す』

『ム、さまでの深い志を、無に致しては相成るまい、好い』

『黄泉のお手導き致すで御座りませう』

<p>旅館 成功館</p> <p>大阪商船切符仲次所 伯刺西爾時報取次所</p>	<p>食料品及雜貨販賣 雜穀類委托販賣</p> <p>サンクトペテルブルク・セツツランブロ(大谷) 電話……一八〇四四六八四</p>	<p>上原商店</p> <p>アリオ・ラルゴ・ア・セツツランブロ Rua Senator Ruiji 68-84 Santos</p>	<p>America Hotel Proprietarios Narquez & Cubelas</p> <p>◎ 金拾五ミルレース Telephone, 508 Rua Senator Ruiji 68-84 Santos</p>	<p>上等旅館 設備完全、取扱叮嚀 日本人諸君歡迎</p>	<p>御旅日光館</p> <p>Praça José Bonifácio, 51 SANTOS</p>	<p>公認産婆 佐々木豊子 ボニファシオ 公園真向ひ五一番 電話シダーデ二一〇三三</p>	<p>Toyoco Sasaki Parteira Diplomada no Japão e em São Paulo</p>	<p>CLINICA DENTISTA NIPPON-BRASILEIRA</p>
---	--	--	---	--	--	--	--	---